

UTokyo COMPASS 

多様性の海へ： 対話が創造する未来

Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue

東京大学が目指す理念と基本方針

1

1. 指定国立大学法人構想の進捗状況について
2. 指定国立大学法人構想としての国際的なプレゼンスの向上を示す状況について
3. 第4期中期目標期間に向けた今後の計画・展望について

2

指定国立大学法人構想

地球と人類社会の未来に貢献する 「知の協創の世界拠点」の形成

平成29年6月に指定



指定国立大学法人構想の主な成果

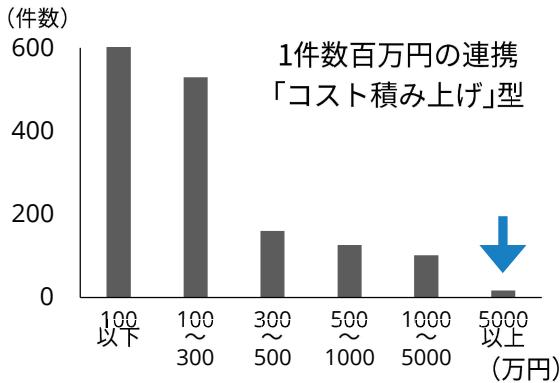
構想調書・工程表で示した主な目標と達成状況

人材育成・獲得	300以上の若手研究者 ポスト確保	▶	令和2年度までで 364ポストを確保
研究力強化	卓越した研究拠点の 強化・拡充	▶	東京カレッジの設置 (平成31年)、 連携研究機構制度の導入 (平成28年～、現在42機構)
社会連携	関連ベンチャーの 年間30社創出	▶	毎年30社以上の増 (令和2年度末で438社、平成28年度比133社増)
大学運営・経営 機能の強化	実質100億円程度の自由度 の高い財源の構築	▶	令和2年度時点で 151.3億円 (+長期債 300億円)

本学の設定した工程表は本年度まで。構想調書の内容を着実に実施。

産学協創と新たなエコシステムの構築

産学連携



大学の知の価値が過小評価

1件数百万円の連携
「コスト積み上げ」型

産学協創



Beyond AI研究所

「食料・水・環境」

組織同士の連携

未来ビジョンを共有

無形の知的資産の価値付けへ

トップ連携により10年100億円単位の協創を実現

日立 (2016)、NEC (2016)、ダイキン (2018、100億円以上)、ソフトバンク (2019、200億円)、IBM (2019)、三井不動産 (2020/1)、日本ペイント (2020/5)、住友林業 (2020/9)、TCS (2020/10)、クボタ (2021/11、100億円)

産業界と世界をつなぐ東京大学ゲートウェイ

～ 半導体・量子技術の事例～

半導体関連 (d.lab + RaaS) 24社

参加企業 (一部)

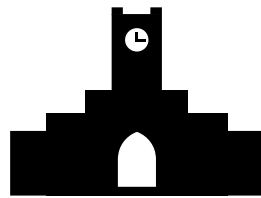
- 住友商事株式会社
- 凸版印刷株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社ミライズテクノロジーズ

量子関係 (QIIC) 10社

参加企業 (一部)

- 株式会社東芝
- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社みずほFG
- 三菱ケミカル株式会社
- 株式会社三菱UFJ FG

産業界



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

世界



半導体戦略
(2019. 11～)



量子技術戦略
(2019. 12～)



システムデザイン
研究センター
(2019. 10～)



量子イノベーション
イニシアティブ協議会
(2020. 7～)

海外トップ拠点

大学、企業、ベンチャー他

東京大学におけるスタートアップ支援



東京大学協創プラットフォーム開発

東京大学投資事業会社 / 2016年

協創1号ファンド：総額250億円、これまで57社に投資、2社がIPO

AOI1号ファンド：当初出資金27.65億円、増額認定を受け上限250億円の本格ファンドへ

令和元年度にTCFD宣言に賛同を表明



東京大学エッジキャピタルパートナーズ

東京大学関連ベンチャーキャピタル / 2004年

累積額約543億円の4本のファンドを運営

約110社に投資し、ペプチドリームなど13社がIPO、12社がM&A



東京大学TLO

東京大学関連技術移転機 / 1998年

累積で104.7億円のライセンス収入
累積で5,432件の契約を締結

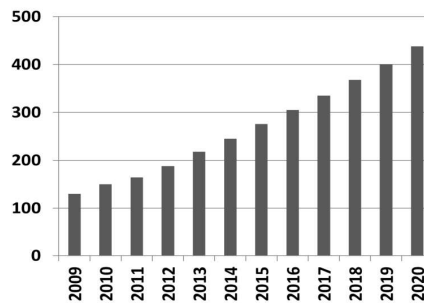
SDGs関連技術移転を積極実施

東大関連ベンチャー

時価総額Top 5

企業名	上場市場	時価総額
ペプチドリーム	東証一部	6,748億円
Preferred Networks	未上場	3,571億円
ミクシイ	東証一部	1,980億円
ウェルスナビ	マザーズ	1,050億円
ライフネット生命	マザーズ	959億円
5社合計		1兆4,308億円

累計起業数



実績

東大関連ベンチャーは累計430社以上
(うちIPOした企業23社)

国際的にも高レベルの実績とポテンシャル

7

子会社による特定研究成果活用事業の実施



教授陣が、体系的なデータサイエンス理論を基礎から徹底的に解説

リカレント教育を目的に設立
様々な教育コンテンツを社会に発信する中心拠点
大手町ビルに80名の受講可能な教室を用意
受講者数は、241名(2019)、480名(2020)、1070名(2021前期)
設立日: 2018年12月3日
株主: 国立大学法人東京大学 (100%)



東京大学エコノミックコンサルティング株式会社



学術的専門性を有した教員やその他のエキスパートがデータに基づく分析やEBPMを実施

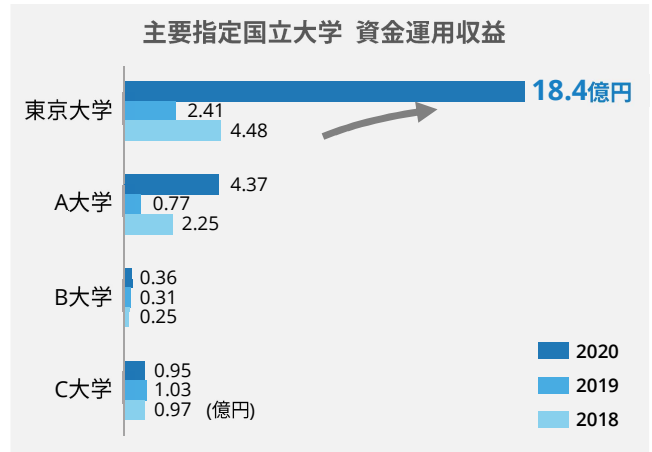
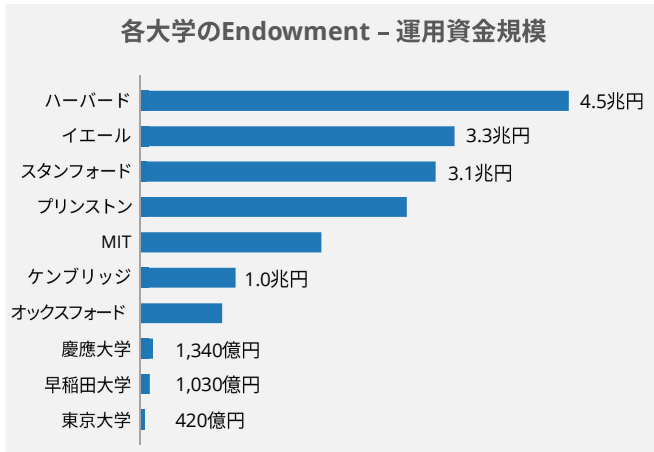
民間企業、政府、自治体、法律事務所等の幅広いクライアントにコンサルティング、商品・サービスの開発支援、研修等を提供
設立初年(2020年)度より順調にクライアントを獲得
(売上1億4700万円、黒字スタート)
第2期も売上目標(2億円)をクリアし黒字見込
設立日: 2020年8月3日
主要株主: 国立大学法人東京大学、株式会社日本経済新聞社、株式会社東京商工リサーチ

8

寄附金を原資とした高度な資金運用の成果

海外の大学の「Endowment」の考え方から、日本の大学の「大学基金」だけではなく、資金運用金額を比較

ポートフォリオにもとづく国際分散投資運用高度化の実践
2020年度 **18.4億円**の運用実績



慶應義塾大学・早稲田大学については運用資金全額の公開はないため日経新聞記事(2019.10.12)より2018年度末時点の数値を引用
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO50933790S9A011C1K15200/>
海外大学については各大学WEBサイトより2019年の数値を円換算したもの

各大学HPより(指定国立大学のうち「資金運用収益」について特別に項目を設けて公開している大学を選定)

「東京大学FSI債」の発行

2020年10月に長期の大学債を発行

国債並みの信用格付け
ソーシャルボンドとして最高位評価

第1号は200億円(40年債)で発行
1,260億円(発行額の6倍以上)の申込
年利0.823%、財投機関債(政府系機関の債券)並み

2020年サステナブルファイナンス大賞(環境金融研究機構)
Debut Debt Deal of the Year (DealWatch)
BEST DEALS OF 2020(キャピタル・アイAwards)を受賞

第2号は2021年12月、100億円(40年債)
前を上回る1,513億円(発行額の15倍以上)の申込み
年利0.853%(財投機関債並み)



1. 指定国立大学法人構想の進捗状況について
2. 指定国立大学法人構想としての国際的なプレゼンスの向上を示す状況について
3. 第4期中期目標期間に向けた今後の計画・展望について

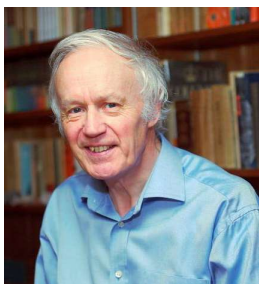


11



東京カレッジ Tokyo College

東京大学と海外の研究者や研究機関を結ぶインターフェイス。世界の第一線で活躍する研究者や知識人を招き、市民の皆さんと一緒に未来社会の様々な側面について考える。



名誉カレッジ長
Sir Anthony Leggett
2003年ノーベル物理学賞
イリノイ大学教授

発見の喜び、知の力

2050年の地球と人類社会

デジタル革命と人類の未来

2050年の人文学
世界哲学、世界史、世界文学

学際的アプローチによる
地球の限界への挑戦

生・命(いのち)の未来

内から見た日本、外から見た日本

12



講演会・シンポジウム等を令和2年度に51回、令和3年度（12月まで）に41回開催、総視聴回数は16.8万回

13

Tokyo Forum 2021 Shaping the Future

Free Registration Required

参加無料
要事前登録

Tokyo Forum 2021

Shaping the Future

科学と人の心

Science and the Human Mind

Online オンライン開催

English 英語

Japanese simultaneous interpretation available
日本語同時通訳あり

Thursday, 2nd December 12月2日(木)

20:00-23:00JST/11:00-14:00GMT

Friday, 3rd December 12月3日(金)

20:00-23:40JST/11:00-14:40GMT

2日合計で約21,500ビューを達成（Tokyo Forum 2020では2日で約8,000ビュー）

14

ニューヨークへの展開

東京大学
ニューヨークオフィス



2015年、米国での研究・教育・社会連携活動等の推進を目的としてマンハッタン中心部に開設

米国における本学の活動の情報発信拠点としてコミュニケーションハブを設置

セミナー・ワークショップ等の開催のほか、現地の企業、卒業生、大学等とのネットワーク構築、認知度向上による寄附獲得等にも活用
(米国国内歳入法501条C3項による免税組織)



Mayor Bill de Blasio Announces Finalists to Anchor City's Climate Solutions Center on Governors Island

DEC 21 2:27 PM



World Economic Forum (ダボス会議)

総長が参加し、世界の有力校の学長が参加するGlobal University Leaders Forum (GULF)をはじめ、様々なセッションに出席、世界の多くの要人とも面談できる貴重な機会

ダボス会議や中国開催の通称「サマーダボス」で本学教員がUTokyo IdeasLabセッションを開催

- GULF参加大学 (一部)**
- (米) Columbia, Harvard, MIT, Princeton, Stanford, UC Berkeley, Yale
 - (英) Cambridge, Oxford
 - (中国) 北京大、清華大
 - (星) シンガポール国立大
 - (日本) 慶應義塾大、東大



© World Economic Forum / Sikarin Fon Thanachaiary



© 日立製作所

ザ・ニッポン・チャレンジ: Society 5.0

日本発の理想の社会像Society5.0について五神前総長が中西経団連会長(当時)ほかと共同発表

戦略的な国際化の展開

世界有力大学・国際機関との戦略的連携

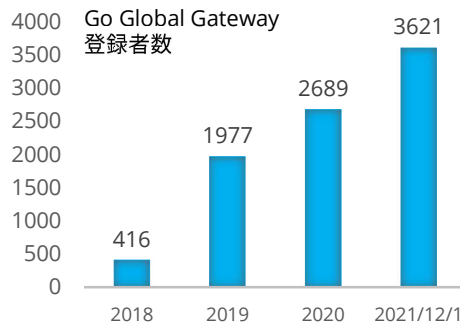
海外10大学との戦略的パートナーシッププロジェクトの推進
 国際研究型大学連合 (IARU) の議長として、連携をリード
 世界経済フォーラム (WEF)、国際連合関連機関との連携強化

国際総合力認定制度 (Go Global Gateway)

学部学生に対する国際化教育の基盤として展開
 入学後早期に世界を意識し、国際的な学習や交流への参加を
 後押しし、世界の多様な人々とともに生き、ともに働く力
 (国際総合力) を身に付けさせる

国際交流活動や留学の最新情報を一元化
 自分だけのポートフォリオ (活動履歴) を作成
 認定証の授与

国際総合力の5つの要素



2018.5 IARU学長会議 (北京大)

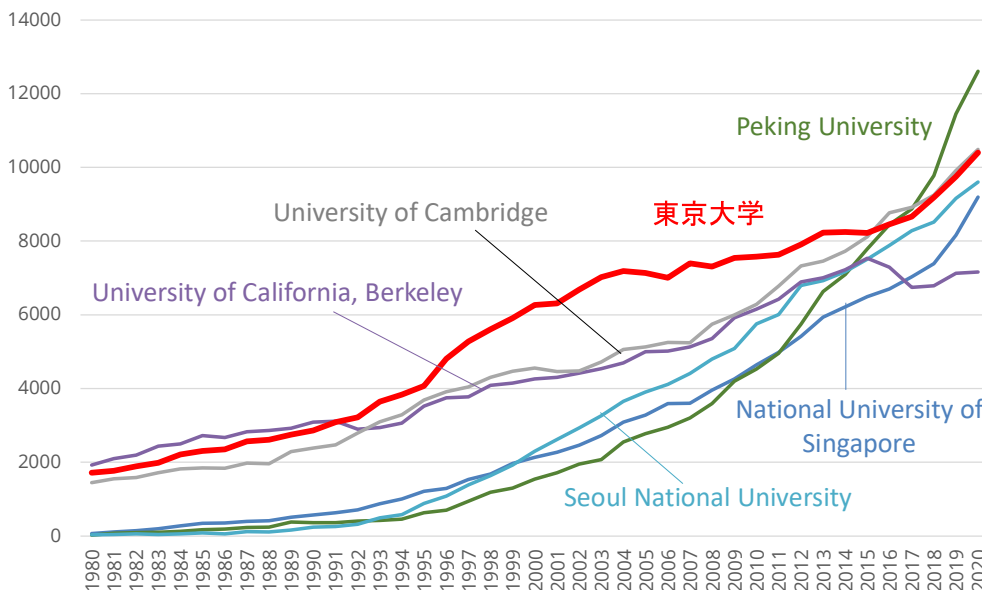
国際研究型大学連合 (IARU)

世界トップクラスの11研究大学による大学連合 (2006年設立)
 2019.1~2021.2 東京大学が議長として連携をリード

加盟大学	THE世界大学ランキング2019	QS世界大学ランキング2019
東京大学	(42, 23)	
Australia National	(49, 24)	
ETH Zurich	(11, 7)	
National U Singapore	(23, 11)	
Peking	(31, 30)	
UC Berkeley	(15, 27)	
Cambridge	(2, 6)	
Cape Town	(156, 200)	
Copenhagen	(116, 79)	
Oxford	(1, 5)	
Yale	(8, 15)	

()内の数字はTHE世界大学ランキング2019とQS世界大学ランキングの順位

東京大学と海外大学の論文数推移



Nature Index Annual Tables 2021 における論文シェア

Harvard	1 (2)
Stanford	2 (5)
MIT	3 (7)
東京大学	4 (8)
Oxford	5 (9)
Cambridge	6 (10)
Peking	8 (12)
Berkeley	12 (17)
Singapore	24 (29)
Seoul	51 (58)

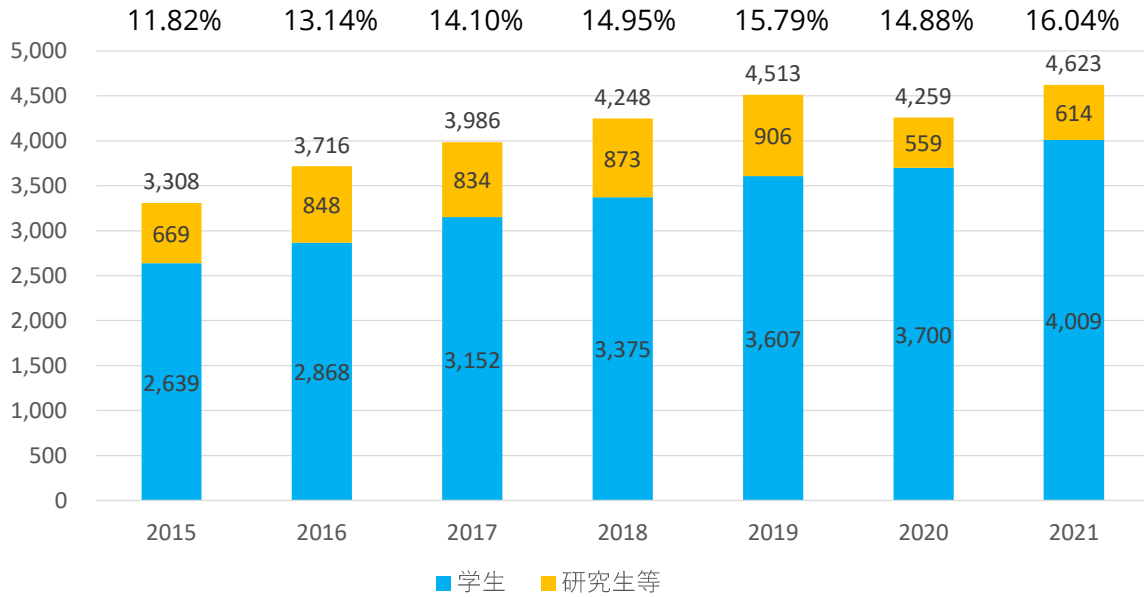
数字は大学のみの順位、
 () 内は全機関中の順位

InCites データ取得日: 2021/12/16
 分析期間: 1980-2020

Documents Type: Article, Review
 Research Area: ESI

留学生の増加

(留学生比率)



19

1. 指定国立大学法人構想の進捗状況について
2. 指定国立大学法人構想としての国際的なプレゼンスの向上を示す状況について
3. 第4期中期目標期間に向けた今後の計画・展望について



20

UTokyo COMPASS の基本理念



学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究
 地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育
 多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学
 地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン
 インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す

UTokyo COMPASS 具体的な行動計画



地球規模の課題 解決への取組

GX: Green Transformation
DX: Digital Transformation



国際的なGXを先導

グローバル・commons・ステュワードシップ指標の作成、産学連携プラットフォームETI-CGCを新たに組織、東京大学のCO2実質排出量を2030年度に2006年度比で半減、Race-to-Zeroに参加、GX本部(仮称)の設置



データ活用社会の創成と実践

医療・気象・社会・材料、災害予測、防災支援、SINET、mdx、DX本部(仮称)による包括的DX推進



ダイバーシティとインクルージョンの推進

ダイバーシティ研究・教育推進機構(仮称)の設置、ダイバーシティ&インクルージョン宣言を策定



未来を築く卓越した人材の排出

社会のさまざまな場を支える、対話力に優れ、専門知と教養を備えた知識人、聞こえにくい声にも耳を傾け、自らの声がどう響くかにも自覚的な共感形成の能力



グローバル・コモンズ・スチュワードシップ指標

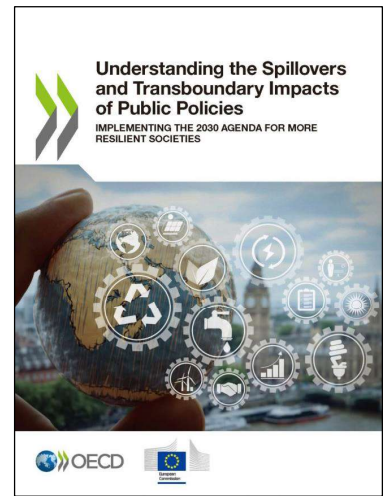
国連SDSN、イエール大学と共同開発。Tokyo Forum 2021で100カ国対象版を公表。



<https://cgic.ifi.u-tokyo.ac.jp/en/news/gcs-index2021-100countries-en/>

	Overall	Domestic	Spillover		Overall	Domestic	Spillover
Argentina	BB	CCC	A	Japan	B	BB	CCC
Australia	CCC	CCC	CCC	Korea, Rep.	B	B	B
Austria	B	BB	CCC	Latvia	BB	BB	BB
Bangladesh	BBB	BBB	A	Lithuania	BB	BB	B
Belgium	CCC	BB	CCC	Luxembourg	CCC	B	CCC
Brazil	BBB	BB	A	Mexico	BB	B	A
Canada	CCC	CCC	CCC	Netherlands	CCC	BB	CCC
Chile	BBB	BB	A	New Zealand	CCC	CCC	BB
China	CCC	CCC	CCC				
Colombia	CCC	CCC	CCC				
Costa Rica	CCC	CCC	CCC				
Czechia	CCC	CCC	CCC				
Denmark	CCC	CCC	CCC				
Egypt	CCC	CCC	CCC				
France	CCC	CCC	CCC				
Germany	CCC	CCC	CCC				
Greece	B	B	B	Slovenia	B	BB	CCC
Hungary	BBB	BB	BBB	South Africa	BB	B	BBB
Iceland	CCC	CCC	CCC	Spain	B	B	B
India	BBB	BB	A	Sweden	B	BBB	CCC
Indonesia	BBB	BB	A	Switzerland	CCC	BBB	CCC
Ireland	B	BB	CCC	Turkey	BB	B	BBB
Israel	CCC	CCC	CCC	United Kingdom	B	BBB	CCC
Italy	B	BB	CCC	United States	B	CCC	B

気候変動や生物多様性などの地球環境システムの主要構成要素への負荷の増減実績、目標への達成度を定量的／定性的に評価。各国の持続可能な人類社会に向けた社会・経済システム転換への貢献度を計測・評価し、その比較を可視化した世界初の総合指標。



OECDと欧州委員会共同研究センター(EC-JRC)が発行する書籍で紹介(2021.4)

ETI-CGC Energy Transition Initiative-Center for Global Commons

日本のネットゼロの道筋を描くためにビジネスリーダーとアカデミアが自主的に協働する産学連携プラットフォーム

エネルギー分野における国際的な企業リーダーの連帯を進めるETC (Energy Transitions Commission) 議長のアデル・ターナー卿 (写真左) ほかの参加を得て、11月5日 COP26 (グラスゴー) にてオフィシャル・ローンチ



ETI-CGC

東京大学CGC

CGC: Center for Global Commons
グローバル・コモンズ・センターが事務局。
ETCの分析を活用し、世界の知見・経験を動員



参加企業 13社

エネルギー	東京電力、JERA、三菱ガス
素材	住友化学、三菱ケミカル、AGC
輸送	トヨタ自動車
流通	三井物産
金融	三菱UFJ FG、三井住友FG
その他	ダイキン工業、日立製作所、ソフトバンク

Race to Zero

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動を呼びかける国際キャンペーン

UNFCCC (国連気候変動枠組条約事務局) が2020年6月に発表
世界の35地域、799都市、4475企業、731教育機関、250金融機関などが加盟 (世界経済の7割以上の規模)

東京大学は2021年10月に加盟 (日本の国立大学として初)



RACE TO ZERO

11月のCOP26にてグラスゴーの会場と日本を繋いだ学生による対話イベントを実施

研究・教育の効用を減少させずに都市型大学としてカーボンニュートラルを計画・実行

グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成

地球規模の課題に東京大学が有するアセットを“全投入”



基幹プログラム GX俯瞰講義、グリーン未来交流会、GXインスパイア講義

高度スキル養成プログラム 海外派遣プログラム、産学連携インターンシップ、トランスファラブルスキル獲得支援

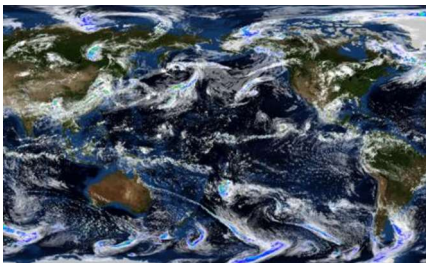
25

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) への貢献

Find a Global Solution to Climate Change with the University of Tokyo.

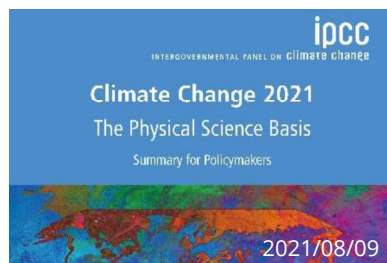


“Recent changes in the climate are widespread, rapid and intensifying, and unprecedented in thousands of years.”



富岳を用いた 全球大気シミュレーション

日本の計算機技術を活用した世界最先端レベルの気象・気候シミュレーション研究を展開



IPCC 第一作業部会 第6次評価報告書 (AR6) 公開

本学からAR6へ国内最多の貢献
執筆者10名・査読編集者2名
(日本人全体の46%)



真鍋淑郎氏

2021年ノーベル物理学賞受賞

本学理学部地球物理学科卒業
真鍋氏の業績（気候モデル開発および温暖化の物理的理解）を受け継ぎ、国内の気候変動研究ハブとして機能
未来ビジョン研究センター、
大気海洋研究所、生産技術研究所他

26

UTokyo Compass: “Diversity & Inclusion” の新たな取り組み

ダイバーシティ&インクルーシブキャンパスの整備（第2回「東京大学FSI債」の想定事業）

多様な人材の包摂に向けたキャンパス整備や、産学連携を通じた広く社会との対話を目指した投資を行う

安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス

- ・インクルーシブキャンパスの実現に向け、国籍、文化、性、障害の有無を問わない自由な交流の場を整備する
- ・施設のバリアフリー化を推進し、様々な困難を抱えた構成員の需要に向けた環境整備を行う
- ・運動施設の新たな価値創造のための先進的スポーツ・健康コンテンツ創造基盤事業の推進



グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

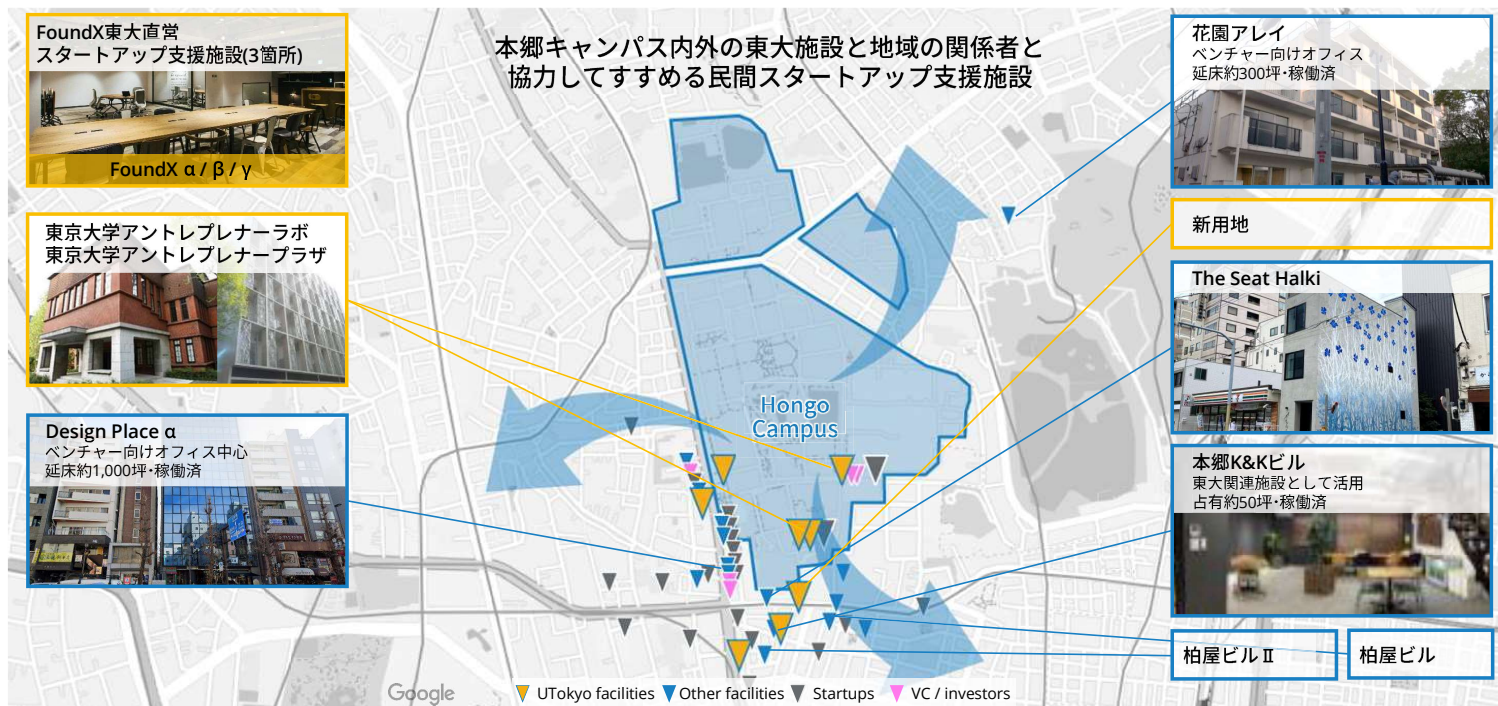
- ・先端研究領域における産学協創の推進
- ・ヘリウムリサイクルシステムの確立

- 次世代育成部会設置（2021.12.1設置）
- 東京大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言（仮称）WG
- 部局女性人事加速5か年計画TF
- ダイバーシティに関する意識と実態調査（2020）



27

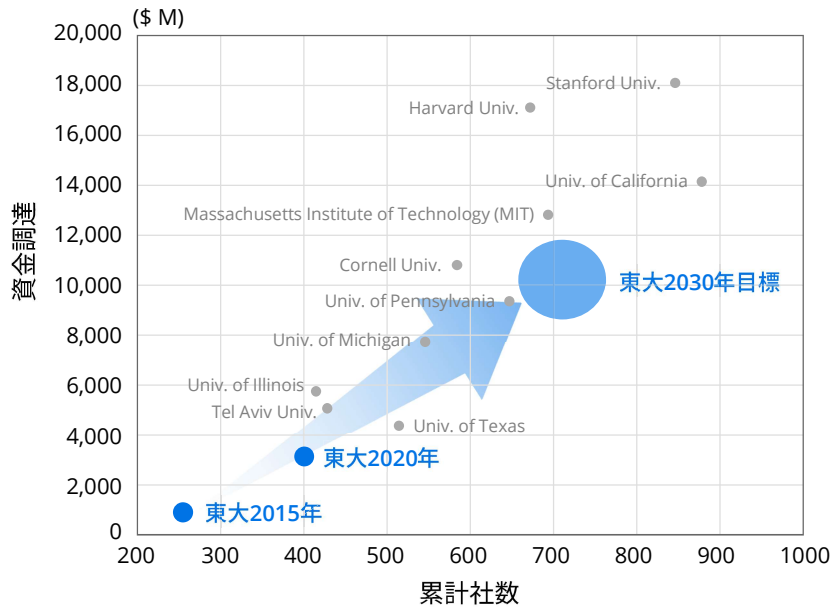
本郷インテリジェンスヒル（本郷バレー）



大学と民間支援組織が協力する新たな手法による地域開発を目指す

28

2015年時米国大学統計と2030年スタートアップ規模予測



2030年に東大関連スタートアップ規模の目標は、キャピタル1兆円、700社

UTokyo COMPASS

地球規模の課題解決へさらに前進